

ちょっとした、  
けれども誰も思いつ  
いたことのないよう  
な面白いアイデア



自らが発見した  
実現したい課題



面白い発想・技術で  
これからの日本を  
創っていこう!

自分でも一番  
良い使い方が分から  
ないけれど、こだわ  
りの尖った  
技術



尖った技術・面白いアイデア・  
実現したい課題などを表彰します!  
企業と組んで実現を目指そう!

ジェネレーションアワード部門では  
ICT\*に関わる分野ごとに表彰のチャンスがあります。

- |               |    |    |                   |                                 |        |                                 |               |       |
|---------------|----|----|-------------------|---------------------------------|--------|---------------------------------|---------------|-------|
| 情報通信          | 宇宙 | 医療 | 教育                | 農業・漁業・<br>林業などの<br>第一次産業<br>と流通 | セキュリティ | センシング・<br>データ                   | 電波とその<br>有効利用 | 映像・音声 |
| バイオ<br>テクノロジー | 防災 | 流通 | ロボット・AI<br>(人工知能) | IoT(Internet<br>of Things)      | アプリ    | その他業務実施機関が思い付きも<br>しない分野の創設でも歓迎 |               |       |

\*ICTとは Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略で、日本語では「情報通信技術」という意味で使われます。

各分野ごとの表彰に加え

協力協賛企業より  
副賞20万円や  
特別賞を提供!



既に作ったモノが  
あるんだけど...

技術はないけど  
アイデアならある!

知人が面白い  
発明をしている!

そんなあなたも  
申請できます!

あなた自身やあなたの周りの  
「異能な人」をお待ちしております!

申請資格: 日本国籍を持つ者(居住地問わず)または終了まで日本国内で技術開発を実施することが可能な者(国籍問わず)。\*年齢による制限はありません

応募要件: 自薦(個人もしくはグループの自らの応募)、他薦(応援したい個人もしくはグループを推薦)。なお、他薦の場合、被推薦者の現在の連絡先を業務実施機関に知らせることができること。

平成29年度申請受付期間

平成29年5月22日(月)～6月30日(金)

### 破壊的な挑戦部門について

異能 vation プログラムには他にも、技術課題に挑戦したい方向への「破壊的な挑戦部門」があります。ICT(情報通信技術)分野において、破壊的価値を創造する、奇想天外でアンビシャスな技術課題への挑戦を支援します。(支援額300万円まで。最長1年)

ジェネレーションアワード部門、破壊的な挑戦部門の2部門同時応募も可能です。詳しくは公式サイトへ!

<http://www.inno.go.jp>

# ジェネレーションアワード部門

## 企業と組んで実現を目指そう！

情報通信審議会諮問「イノベーション創出実現に向けた情報通信技術政策の在り方」（中間答申：平成 25 年 7 月 5 日 最終答申：平成 26 年 6 月 27 日）において、『既存の常識に縛られない独創的な「変わった事を考える人材」、「変わった事をする人材」など、独創的な人材を積極的に活かしていく仕組みが重要である』と提言されました。これを踏まえ、総務省では、平成 26 年度より、『異能 vation』プログラムを推進し、独創的な技術課題の発掘に取り組んできたところです。

現在、政府においては、新しいアイデアに基づく研究を奨励するアワード方式の導入など、チャレンジングな研究開発の支援方策の検討なども進められています。これから本格的な IoT / BD / AI 時代を迎えると、人工知能でもできる「問題を解く力」よりも「これまでにない（＝人工知能には予想もつかない）課題を発見し未来を拓く力」がより一層求められていくことと考えられます。

異能 vation プログラムでは、こうした状況を踏まえ、異能 vation 協力協賛企業との連携により、

- ① ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア
- ② 自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術
- ③ 自らが発見した実現したい課題

等を募集する「ジェネレーションアワード部門」を本年度より新設し、「異能ジェネレーションアワード」として表彰します。さらに、これらのアイデア・技術・課題について企業と組んで実現を目指す機会を設けます。全国津々浦々、あらゆる年代からの応募をお待ちしております。

### ■応募課題

ICT※分野における以下の項目等を募集します。

※ ICT とは Information and Communication Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）の略で、日本語では「情報通信技術」という意味で使われる。

- ・ ちょっとした、けれども誰も思いついたことのないような面白いアイデア
- ・ 自分でも一番良い使い方が分からないけれど、こだわりの尖った技術
- ・ 自らが発見した実現したい課題

等、あなたの日ごろのちょっとしたアイデアも、こだわりの技術も、思いもよらないような使い方をしてくれる人や企業が出現することにより、世界を変える一歩を生むかもしれません。

### ■応募資格

- ・ 日本国籍を持つ者（居住地問わず）または終了まで日本国内で技術開発を実施することが可能な者（国籍問わず）。
- ・ 年齢は問いません。
- ・ 受付フォームは以下の予定です（変更の可能性あり）。

<自薦>

個人情報を入力 / 募集分野の選択 / 作品タイトルの入力（50 文字以内） / 作品説明の入力（600 文字以内） / 作品に関する別添資料

<他薦>

推薦する人（あなた）の個人情報の入力 / あなたが推薦する方（被推薦者）の情報の入力 / 推薦する方との関係の入力（600 文字以内） / 推薦する方に何を期待しているかの入力（600 文字以内）

### ■アワード

以下の分野それぞれに対して「異能ジェネレーションアワード」の表彰を行います。また、特定企業が特に支援したいと思う課題などについては企業特別賞が設けられることがあります。なお、審査の結果、分野などに対象がない場合はアワードを設定しません。

#### 募集分野例：ICT に関わる以下の分野

- ① 情報通信、② 宇宙、③ 医療、④ 教育、⑤ 農業・漁業・林業などの第一次産業と流通、⑥ セキュリティ、⑦ センシング・データ、⑧ 電波とその有効利用、⑨ 映像・音声、⑩ バイオテクノロジー、⑪ 防災、⑫ 流通、⑬ ロボット・AI（人工知能）、⑭ IoT(Internet of Things)、⑮ アプリ、⑯ その他業務実施機関が思い付きもしない分野。

**各分野における表彰が行われます。** 協力協賛企業各社による副賞（20万円）や特別賞など

詳しくは公式サイトへ

<http://www.inno.go.jp>